

コロナ禍から3年目のこの春は、ようやくマスクが必須だった生活からも解放されて人が集うこともOKになりましたね。うれしい春の到来です。

ご け い た よ り
互恵便り 第25号

創業以来100余年、幸せな明日へ祈りの心を…
NS 中谷石材株式会社
〒761- 0121
高松市牟礼町牟礼3766-1
電話 087- 845- 5006



ワクワクする
春が来ました！

写真 中谷石材(株)大川工場 奥野 武



3月11日 香川県東かがわ市湊川「河津桜」

1、マスクのない生活は子供たちには特にうれしいでしょうね。ご高齢の方や持病をお持ちの方もいらっしゃるので、気遣いは忘れずにいたいですね。



「墓石販売」という事業は これまで経験したことのない 転換期を迎えています



お陰様です。

中谷石材は63期を迎えました。法人化する以前から数えますと100年以上、この地で石の仕事を今日に至っています。その長く事業を続けさせてもらった歴史の中でも、これまで経験したことのない転換期を迎えているのが現在だと、私は認識しています。この変化は、20年前すでに始まってきました。「墓石販売」という一本足商法が限界にきています。

お墓の需要回復は 見込めないであろうと

中国からの墓石製品輸入は2002年の120万トンがピークで、以降は減少を続け、昨年はついに30万トンを切りました。以前の4分の1以下です。2017年には7割の方がお墓を所有しました。墓じまい（弊社では「お墓の片付け」と呼んでいます）を考える方は少なくないですし、お墓の需要回復は見込めないと見るのが経営者として正しい判断でしょう。

私どもでは、13年前に草むしり事業を始めました。最初の数年は担当者も1人で、いろいろな苦労もかけましたが、「これは地域でお役に立てる事業になる」という見通しが当た

り、お陰様で成長を続けることができています。今では草むしり事業部で40名の方が働いています。

世の中が移り変わっていく以上、それに合わせて私たち事業者も変化していかなければなりません。例外はありません。

お寺さんを考えてみましょう。何百年も続いてきて、これからも続いていく「人を弔う」という仕事ですが、そのお寺さんでも今の世の中の移り変わりに合わせて、変えるべきところはあると思います。それこそ諸行無常、世のすべてのものは移り変わり、永遠に変わらないものはないということです。

変わりゆく世の中で 力を尽くし守り残す

変わりゆく世の中にあって、自分の役立ちどころを見出してそれに汗を流し、守るべきものは力を尽くして守り、残していきたいと思っています。

今期は正に、そういう会社を社員と一緒に目指し続けたいというのが、私の社長としての決心です。

社長 中谷明生



久米山墓地公園のトイレ掃除をしています 「心を磨く」という気持ちを胸に



昨年末、亡き義姉のお骨を高松市東山崎町にある久米山墓地公園に納骨させていただきました。そこは私の家から近く、車で五分程です。墓地公園管理者の方は、墓地管理だけでなく複数の神社の宮司もされていて非常に多忙な方です。これも何かのご縁だと思い、当墓地のトイレ掃除をさせて頂きたいと社長にお願いしました。

少しでも気持ち良く 使っていただければ！

私の義姉も祀られていますし、沢山の方が墓所にお参りに訪れていらっしゃいます。皆さんに少しでも気持ち良く使っていただければ、との思いで火曜日と金曜日の週2回する事になりました。



トイレも自分の心も 磨くという気持ちで

昨年12月23～26日。

この初めての3日間、中谷社長に掃除の仕方を教わりました。洗剤で洗うのではなく雑巾、スポンジ、束子、サンドペーパー、ヘラ等々を使い色々と考え、「トイレも自分の心も磨く」という気持ちでしなさい。」との事でした。その思いを胸に、掃除に励んでいます。

ちなみに、春はこの墓地公園の参道や納骨堂の山頂の桜並木の桜が見事に咲いて大変綺麗です。近くにおいでの際は、ぜひご覧になってください。

配送センター
大西達雄





中谷石材(株)「わたしの仕事」



「採掘」 野口浩三

はじめまして。中谷石材・採掘担当の野口浩三です。

私は昭和37年(1962年)の生まれで、昨年、還暦を迎えました。子供が4人、孫は5人います。みんな家から独立して、今は夫婦2人暮らしです。慣れない2人暮らしの練習中といったところでしょうか。

牟礼町生まれの庵治町育ちで、子供の頃はまあ、おとなしいとは言えない子供だったと思います。家の近くが海でしたので、高校くらいまでは友達と海で泳いだり潜ったり、獲った貝を海辺で焼いて食べたりと大らかな時代でした。ときには釣りもしました。

高校は県立の多度津水産高校に行きました。地元では多水(たすい)で通っていました。この海洋水産科で缶詰の作り方を教わったり、かまぼこを作ったりもしました。今は工業高校と一緒に多度津高校となつていますが、香川丸という実習船も持っている学校です。

石の仕事は30代半ばから

高校を出てから、いろんな仕事をしました。30代の半ばに砕石場で重機に乗って仕事をするようになったのがきっかけで、石切り場で仕事をするようになりました。今とは違う会社で働き始めたのですが、山は景色も良いですし、私には採石場での仕事は向いていると思います。そこで、発破技士の資格をとりました。

中谷石材には、平成22年(2010年)に入社して現在に至っています。前

の会社を含め、かれこれ30年以上採掘の仕事をしていることになります。

正直こんなに長くこの仕事をするとは思っていませんでした。この仕事の面白さに気づいて夢中になったことが続いている理由でしょうか。

山を相手の仕事は、人間の思い通りにはいきません

山を相手にする仕事は、人間の思い通りには行きません。石をたくさん掘り出した、良い石ばかりを取り出したいと思っても、そんなことは叶いません。この辺りはしばらく良い石は出ないなと分かっているても、先ずはそこから採掘します。

そついつときは辛抱するしかありません。願うような良い石が1年くらい採れなかったこともあります。その間は気持ちも晴れませんが、辛抱です。

良い石が採れると当然うれしいです。でも、なんと言ってもうれしいのは、自分の採った石がピカピカの製品になったのを見たときです。石を見れば大抵はその石を採ったときのことを覚えていきますから、それが立派なお墓や製品になった姿を見る喜びは、格別です。

工場で仮組みをしているお墓があると、近くに行つて見ます。これはあのときの石だな、傷のない綺麗な墓石が採れて良かったな...と思ひながら見えます。このときが、私には一番うれしい瞬間でしょうか。

一昨年に体調を崩してしまい、半年ほど入院を繰り返しました。入院中、病室の窓から屋島が見えました。大丁場はちょうど屋島の陰に隠れて見えませんが、それでも見ていました。休んでいる間も、いつも山が気になっていました。こうして仕事に復帰できたことが、今は何よりうれしいです。

還暦も過ぎて体力の衰えを感じていますが、まだ頑張るつもりでいます。私は職場の人間に恵まれたなと感謝しています。10数年前に中谷石材に新しく加わったときも、みなさん本当に親切でした。先輩後輩の気兼ねもほとんど要りませんでした。良い職場に入らせてもらったなあと思つたものです。

若い人たちに『庵治石』の魅力を伝えたい

いま一番思うのは、やはり『庵治石』の魅力を若い人たちに伝えたいということです。

墓石以外にも庵治石の魅力が生きる使い道は、いろんなところにあると思うんです。それを若い人たちが再発見して、石の町である牟礼庵治のこれらを切り開いてほしいです。

そうして庵治石のある町として、これから先も何百年と続いてほしいと思います。それが私の一番の願いです。



「環境整備」から学んでいます！

3月2日(木)

草むしり事業部一斉環境整備

今月の一斉環境整備は、(株)そうじの力の小早祥一郎氏をお招きして指導して頂きました。

環境整備とは

* 整理(要らない物は捨てる)

* 整頓(見やすく表示)

* 清掃(磨く)を徹底すること。

* 時を守り(時間を守る)

* 場を清め(現場での作業に妥協しない仕上り)

* 礼を正す(挨拶や身だしなみを整える)

我々の事業部では毎月1日の午前中にメンバー全員が集まり、倉庫や車両を整備しています。回を重ねるにつれて、終わったあとの見栄えも良くなりました。車も道具も、まるで喜んでいいるかの様に見えます。

環境整備を通じて、日常の業務や普段の生活においても沢山の気づきと成長が生まれると教えていただいています。メンバーも、最初のやらされている感から、今では各々が考えて意見を出し合い取り組む様になりました。最近では、みんなの一体感が出てきたように思います。

環境整備を続けながら、5年後には「業界一のキレイな現場+道具+車両+倉庫+笑顔」を実現して、元氣な挨拶と共に、お客様から圧倒的な信頼を得る事業部でありたいと思っています。

草むしり事業部リーダー

牟礼英則



ご依頼にお応えさせていただきました 墓地の草刈り・樹木伐採ほか

3月3日、桃の節句に市内にある久米山墓地で、剪定及び伐採のお仕事をさせていただきました。



草むしり事業部リーダー 林義博

事務所までのアプローチに鎮座する松は数年延び放題のうえ斜面ということもあり手強かったのですが、レジエンドの名を欲しいままにする遠山さんと、我々が草むしりのエース田尾さんの応援を受け美しく仕上がりました。その間、大西さんは誰の手も借りず黙々とトイレの清掃に取り組んでおられました。

午後からは墓地の雑木の伐採に抜根と、斜面の樹木のうち、墓地まで延びた枝の枝打ちを行って涼やかにさせました。墓地の抜根、枝打ちは林班と大西さんの共同作業でしたが、ここでは大西さんが鬼神の如く活躍されました。

お彼岸に訪れた方々も安心してお参りできたことでしょう。この日に駆けつけて下さった皆様全員に心より感謝します。



この日の草むしりメンバーの一人、吉川さんが屋島を望むこの墓地公園に墓地を購入されていました。ここに建立される墓石は、中谷石材で購入すると決めていらっしゃるそうです。



「草むしり日記」 No.49

たくさんのご利用をいただき、大変お世話になっております。毎年4月を迎えると急激に伸びてくるのが“草”です。草むしりはもちろんですが、ご希望に応じて除草剤の噴霧も承っています。でも、草がひざ丈まで伸びてしまっただけでは、あまり除草剤も効きません。早めの対処をお勧めしています。



みなさん、こんにちは。
中谷石材 草むしり事業部リーダーの
今田耕一です。皆さまには大変お世話
になってます。

私は昭和47年（1972年）香川県
庵治町出身で、今年で51才です。小
中学校と庵治町の学校で学び、高校は
引田の大川東高校に通いました。ここ
は生徒数が次第に減ったことにより、
2005年に閉校となりました。母校
がもう無いのはさびしいですね。

子どものころの私は、クラスの仲間
を笑わすのが好きでした。「バカ殿様」
「加トちゃんけんちゃん」が大好きで、
志村さんの人を笑わす力はすごいと
思っていました。将来の夢は志村けん
さんの弟子になることだったのです
が、中学に入ることには自然と、その
夢は消滅していました。

高校生で職場体験した 造園会社へ就職

中学に入ると私の憧れは、志村さん
からクールスに替わっていました。そ
れとキャロルの矢沢永吉さんです。お
金があるときは、高校では頭にパーマ
をかけていました。クールスのレコー
ドは、今も部屋に飾ってあります。

高校三年の夏休みに、京都の造園会
社に職場体験に行きました。そして卒
業すると、そこに就職しました。

入ってすぐに、だまされたと思いま
した。職場体験で行ったときは、みん
な優しくったんです。いざ就職する
と、まるで違いました。厳しかったで
す。それに土曜日になると寮の2階で
生け花教室などがあり、否応なくやら
されました。そんなことは聞いていま
せんでした。

実は親方は、京都の人間なら家に逃
げ帰るかもしれないが、四国なら簡単
には辞めていかないという考えがあつ
たらしいです。その通りでした。つら
いことも多かったですが、先輩は香川
の人が多く、仲の良い友達と一緒にし
たから楽しかったです。ここでの5年
間のきびしい修行に耐えて、香川に
帰ってきました。

独立開業。しかし、悩みが

その後会社勤めをしたのですが、や
はり庭の剪定の仕事を自分でやりた
いと思い、独立。ちょうど、30才に
なる頃でした。

結婚して間もなかった妻と2人で始
めたのですが、次第に仕事が増えて、
両親や妻の両親まで巻きこんでやる
ようになりました。庭が好きなので仕
事は楽しかったです。けれど経営する
となると、苦手なこともしなければな
りませんし、悩みも多くなりました。
父親が怪我をしたということもあ
り、剪定の仕事を辞めようかとも考え
ていた頃です。知ったこの草むしり事
業部で、試しにやってみることにしま
した。

働いてみて、ここは良い職場だなと
思いました。遠山さん牟礼さんはじ
め、会社の先輩たちがすごく優しく
たんです。よし、ここで頑張ろうと決
めました。47才のときです。

47才で入社。現在は リーダーの一人として

今はリーダーとして10人のチーム
を率いているので、さすがに悩むこと
もありません。でも私のやりがいは、
チームの成長なんです。剪定の技術を
教えるのは喜びでもあります。自分の
出来ることを人に伝えて喜ばれるの
は、嬉しいものです。私は中谷に来て
いなかったら、庭師は辞めていたと思
います。声をかけてくれた田尾さん始
め、職場の皆さんに感謝です。

私のストレス解消は買い物と料理で
す。お弁当も妻と交代で作りますよ。
でも自分が作ったときは内容が分かっ
ているので、お昼の楽しみが半減です
が（笑）。晩酌もします。量は少々（？）
です..。

大切にしている言葉

私には、修業時代に親方に言われた
大切にしている言葉があります。
「死ぬまで一人前はないで。毎日が勉
強。自分を一人前やと思うようになっ
たら終わりやで。生きている間は修行
や。」怖い親方でしたが、この言葉は
忘れません。一人前になることを追い
かける初心を忘れずに、これからも頑
張っていきたいと思っています。

草むしり事業部リーダー

今田耕一



草の伸び具合が気になる季節がやって来ました

●防虫対策もお早めに



草むしり.com 高松

フリーダイヤル



0120-148-144

伸びきったカイズ
カも、刈り始めて
数分後には、この
ように中心部の
形が整い始めて
いきます。



今月の社長のコラム

お陰様です。

「お墓は幸せのシンボルです。」こう言われたら、みなさんはどう思われますか？

この言葉は、石文化研究所の初代所長であった故小畠全充先生から教わりました。

小畠先生は日本人にとってお墓とはどのようなものか、ご先祖様をどう敬い感謝の気持ちを表してきたのかを、生涯かけて研究した方です。2018年に亡くなられましたが、私は先生の晩年10数年の間、年に何度かお目にかかり勉強をさせていただきました。先生から学んだことは、私の一生の財産となりました。

お墓の勉強をし直そうと

50才を少し過ぎたころでした。私は、お墓のことを改めて勉強したいと思い始めました。それまではそんなことを思う余裕も無いほど毎日忙しく、振り返る間もないままに社長業を務めていました。それが2000年代に入ってから、墓石業界の売上もピークを過ぎると、当社もそれまでの忙しさと比べて時間に余裕が生まれてきました。お墓を勉強し直すのは今だなど、私は思いました。



今年も我が家に、根性白梅が花を咲かせてくれました。もうこのように根元近くから折れ曲がって何年経つか覚え居ませんが何時も勇気づけられます。

コロナが収まりそうな今年、わが社も改革の2期目に入りますが、この梅のように根性を出して改革をなし遂げていきたいと思います。



そんな時に石材協会から案内状が届いたのです。「お墓と石のことをきちんと学びませんか」という勉強会の案内でした。私はすぐに参加の申し込みをしました。

この勉強会には、全国の石屋さんから80名程の申し込みがあったといいますが、私と同じような思いでいた同業者さんが多かったのだしよ。『十人の会』という勉強会でしたが、記念すべき第一回目の集まりは上野の東京文化会館で開かれることになり、私も参加しました。これが2005年のことでした。

初めてお目にかかる小畠先生は、背の高くない、髭を生やした白髪の人でした。ふつうの初老の男性という印象でしたが、この後お付き合いが始まると、次第に先生の深さが分かってきました。

この日、全国から集まった参加者をグループに分けたのですが、私は他の2名と四国グループを作りました。勉強会では四国のそれぞれの地元で年々各一回、先生の地元神奈川で3回という形で始まりました。

小畠先生から教える

お墓は遺骨を納めるどころという認識がなかった私に、小畠先生は「お墓は幸せのシンボルですよ」と教えるくれました。「残された家族はみんな、亡き人の幸せをひたすら願ってお墓を建てているのです。」という先生の言葉が、何度かお目にかかっているうちに私にも腑に落ちるようになっていったのです。

先生とのお付き合いは、このようにして始まりました。(続きます)

社長 中谷明生



お久しぶりです

昨年4月に退職した西村です。退職して間もなく1年。あつという間でした。

中谷石材の皆様のご活躍はいつも互恵便りで拝見させていただいています。読みながら、在職中の仕事をしていた時のこと、色々などころに行った社員旅行、環境整備や先代の嘉津子社長や忠雄会長、そして現在の中谷明生社長に良くしていただいたことなど思い出したりしています。

社長、私もお墓参りは何かあった時だけでなく、何もなくても手を合わせに行くのを習慣として続けています。互恵便りを見られた方からは、「中谷石材の西村さん」と声をかけられたりすることもあります。(笑)

今は、去年出したCD(最終出船・恋するラブリナイトを含むオリジナル曲全5曲DAMに入っています)のキャンペーン活動や、カラオケの発表会のゲストで歌わせていただいたりしています。

また、健康のためにマッサージに通ったり、スポーツジムで筋トレもしています。

お陰様で、忙しい毎日ですが充実した日々を過ごしています。どこかでお見かけしたら是非、声をかけて下さいね。

西村美代子



創業以来100余年、幸せな明日へ祈りの心を...

中谷石材株式会社

本社 〒761-0121 香川県高松市牟礼町牟礼3766-1

電話 087-845-5006 FAX 087-845-5062



草むしり.com 高松

フリーダイヤル 0120-148-144